

# ばらんす

■編集発行 大田原市教育委員会生涯学習課 女性企画担当 〒324-0041 大田原市本町1丁目3-3 ☎0287-23-8718・FAX 0287-24-2528

去る1月26日(土)市総合文化会館において、真の男女共同参画社会の実現を目指し、女性団体連絡協議会等の主催によるつどいが開催されました。

家族を含めての大田原市女性の海外研修報告、ボランティアの協力によるレクリエーション、最後は「出会い・ふれあい・いい関係」と題して、大塚徹先生(日本ヒューマン経営研究社)の明快な講演で盛会の内に終了しました。



熱心に聞き入る会場いっぱいの聴衆

## 第18回

## 男女共同参画社会を

## 考えるつどい

(今回より名称が変わりました)

## スローガン

- 1 男女が共に尊重される平等な社会の実現を目指しましょう。
- 2 女性もあらゆる分野に参加・参画できる社会作りをめざしましょう。
- 3 働く女性のための条件や環境の整備・充実をめざしましょう。
- 4 女性の福祉と家庭生活の向上をめざしましょう。
- 5 心身共に健康な人づくりをめざしましょう。

# 豊かさを求めて

## 講師紹介

日本ヒューマン経営研究社

## 大塚 徹

とむる

経営・商売生き方研究家・講演家  
企業、役所、学校等の研修で講演  
活動をする傍ら、ラジオで「大塚  
徹の明快人間学」(CRT 栃木放  
送、毎週月曜午後六時四五分)から  
著書「商売繁盛の人間学」他多数

## 講演

## 出会い ふれあい いい関係

「研究テーマは“人間”の全てです」と言われる大塚先生の口から飛び出す示唆、教訓。「子育てや老人介護は地域のみんなで考えなければならぬ。家庭の中だけで解決できる時代ではない。」等々、これから取り組まなければならぬ問題も示唆してくださいました。印象に残った言葉を紙面の許す限り紹介します。

### 大塚徹金言集

- ・他人を味方にする最大の武器は、挨拶だ。
- ・いかなる事業の成功も家庭の失敗を償うことは出来ない。子育ては一大事業だ。
- ・商売における繁盛は人との縁のポリウムに比例する。
- ・自らを変えることなしに未来を手に入れることは出来ない。人生は長い、焦らずに自己改革を。
- ・形には力がある。親や先生は子供より強くてよい。弱くては困る。



講師の大塚先生

- ### 魅力的な女性四か条
- 1 生き生きしてるといふこと
  - 2 知的なこと
  - 3 優しさがあること
  - 4 セクシー(スケベとはちがう)

### 江戸しぐさ(躰のベース)

三歳で心、六歳で躰、九歳で言葉、一二で文、一五理にしてつい決まる。

・自分一人ぐらいと思つてはいけない。自分を大切に出来ない者は人を最大切に出来ない。最大の親孝行は自分を大切にすることだ。そして出会った人とのいい関係を作ること。(三浦綾子「氷点」)

- ・生き方が未熟だから一生懸命働いても貧乏から抜け出られないのだ。
- ・先生になるのをやめた娘「同僚、親、生徒の悪口ばかりの教師の世界。教養はなくても私の両親は人の悪口を云わない。」と云つて魚屋の家業を継いで現在年商二四億の商売をしている。

・女優がいやでやめたいと思つていた浜美枝、一介のおじさんの言葉「仕事で汗かかるといふ感じが」に胸打たれ本気で仕事に打ち込むようになり大成した。

- ### 良い仕事三つの条件
- 1 喜ばれる仕事
  - 2 人に役立つ仕事
  - 3 良心に満足していく仕事

## アンケート 参加者の声

会場には、四〇〇人(男性八三)の入場があり、次のような意見を寄せてくださいました。

- 七〇代女性・男性の参加が多く、前進を感じる。
- 七〇代男性・海外研修、講演はすごく良かった。文化の高い街づくりにがんばりましょう。
- 六〇代男女・海外研修発表すばらしい。今後も継続するよう望む。
- 五〇代男女・家族の発表、実感がこもっていて良かった。
- 五〇代女性・機会均等だけでなく、結果均等の言葉には頷ける。
- 若い女性にも参加してもらいたい。
- 海外研修、今後の活躍を期待する。
- 講演、わかりやすい言葉での手厳しい人生訓、生き方の指針になった。
- 四〇代女性・研修報告に感動、家族の発表も良かった。
- 講演、よかった。人に喜ばれる生き方、人との出会いを大切にしたい。
- 三〇代男女・研修を未来にどう生かすか、具体的に発表してほしい。
- 二〇代女性・ゴミ問題、一人ひとりが意識と知識をもって努力を。
- 女性の自立支援センターの充実を望む。

# 新しい自分・真の豊

## 待っていた家族

### 妻のいない日々

#### 一団員の夫

十日間という研修旅行に応募したいという妻の相談を受けたとき、私は特別な思いが湧いてきた訳ではなかった。私自身が新しいこと、未知のものへのあこがれが大きいので、妻にもごく自然なことと思っていた。

とはいえ、結婚後初めての長期間妻のいない日々は、落ち着いたものではなかった。食事・掃除・洗濯という、いわゆる家事全般にわたり、妻のいない時ぐらいは…と思っていたからだ。

結果は惨たんたるものであった。食事の用意は休日の夕食一回と掃除も休日の一回。他は全て我が家の女性陣にお任せ。妻の存在の大きさを身をもって体験したのである。さらに、普段何気ない妻との会話が、精神的に私の心に安らぎをもたらしてくれたのだと気づかされたのであった。



留守家族の発表者

今回の妻の

研修は、妻にとつてはもちろんであるが、我が家にも私自身にも大きな成果と課題を残してくれた。ちなみに、妻の研修期間に分担した家事を、今もお続けているのは中三の息子一人である。私も今のところ、休日の食事しか手伝っていないが、時間を生み出してひとつでも多くの家事を分担したい。妻に感謝である。

### 母の挑戦

#### 菊池のどか

女性の海外研修に母が、「参加したい」と言った時は、驚きよりも羨ましさで一杯でした。それは、私自身が海外にとっても興味・関心を持っているからです。海外の異文化に触れるのは、若い世代だとばかり思っていた私は、母が「ドイツ・フランスに行きたい」と言い出したことを凄く嬉しく思いました。しかし、ドイツ語にフランス語なんて大丈夫なの？と心配でした。私は、「そうか、お母さんも挑戦するんだね！」と共感しつつ誇らしくも思えました。母は自分にチャンスがくることをねらっていたのです。そんな母の希望をかなえてあげた父の理解・祖父母の賛成にも感謝しました。



留守家族の発表風景

今回の十日間は、母にとつても私たち家族にとつても大変貴重な時間となりました。これから私たち家族はこの経験を生かし、今後少しでも自分から進んで家事に関わっていきたいと思います。そして母には、これからはずっととチャレンジ精神を忘れずに挑戦し続けてもらいたいと思います。

(当時高二)

## 団員の家族状況について

(アンケートより)

### 家族構成

・1人	—	1人
・2人	—	2人
・3人	—	1人
・4人	—	1人
・5人	—	2人
・7人	—	1人
・その他	—	2人

### 本人の職業

・会社員	—	3人
・農業・自営業	—	3人
・パート		
・アルバイト	—	2人
・専業主婦	—	2人

### 家族平均年齢

・本人	—	43歳
・夫(9人)	—	45歳
・子(同居8人)	—	15歳
・親(同居10人)	—	68歳

## 研修期間中の家事について

### 期間中の家事援助

複数回答あり

・同居家族	—	22%
・別居の子	—	22%
・友人等	—	11%
・特になし	—	45%

### 家事分担の継続について

・続いている	—	20%
・一部続いている	—	20%
・続いていない	—	40%
・その他	—	20%

## お留守番していた時

外岡真樹

お母さんがドイツとフランスに行っている時、早く帰ってこないかなと思う時、早く帰ってこないとずっと思っていました。でもおじいちゃんおばあちゃんがいるし、お父さんも早く帰ってきてくれたからさみしくはありませんでした。

お父さんのお弁当はがんばって早起きして私が作りました。夏休みに練習をしていたので、楽しく作ることが出来ました。でも、早起きできなかった日は、おばあちゃんが手伝ってくれま

した。

宿題は言われなくてもやるという約束をしていましたが、時々テレビを見ていて忘れてしまい、お父さんに注意されてしまいました。

お母さんが、ドイツとフランスに行くことが決まった時、あこがれていたドイツに先に行かれてしまうので、すぐうらやましかったです。でも、競争にまきこまれないようにとお祈りしていました。

私は大きくなったら、お母さんみたいに、たくさんのお友達と一緒に、ぜひたいに外国にお勉強をしに行きたいと思っています。(当時小三)

## ひこち インフォメーションボード

### 【平成14年度「大田原市女性の海外研修事業」実施について】

★本年度、第一回の女性の海外研修が実施されました。市内の各地域から応募があり、選考された10名の団員は事前研修、現地研修、事後研修とほぼ日程を消化しつつあります。現在は報告書の作成にがんばっております。主婦の方にとっても、仕事をしている女性にとっても、およそ10ヶ月にわたっての関わりは、本当に大変なことだと思います。しかし、その達成し遂げたという充実感はずばらしいもので、これは経験したことのある人でなければ分かりません。無理だ、できないではなく、一歩前に踏み出してみませんか。14年度も実施いたします。詳細は3月に開催される実行委員会で決定され、新年度になりましたら早い時期に募集を行いたいと考えております。大田原市のまちづくりに関心のある女性、ご協力いただける女性、たくさんのお応募をお待ちしております。(大田原市女性の海外研修事業実行委員会事務局)

## 編集後記

今回は男女共同参画社会を考えるつどいを中心に取り上げました。

第一回大田原市女性の海外研修報告では家庭の様子が伝えられ、お父さんのためにお弁当を作るお子さんなど、家族全員で協力する姿が報告されて皆さんの共感を呼びました。

研修という一粒の種子が発芽し、次の世代も含めて確実に根を張り、伸びようとしている力が感じられます。大きな花を咲かせるようこれからも見守っていききたいものです。

## 編集委員募集

(男女を問いません)

申し込みは、市生涯学習課  
TEL 一三二一八七八まで

\* \* \* \* \*



編集委員

大久保愛子  
杉山真美子  
外岡 博子  
古谷 芳子  
(アイウエオ順)